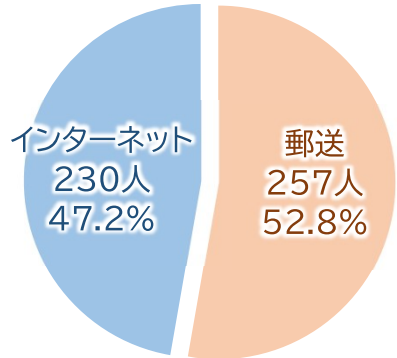


調査の概要

- 目的：市の政策に対して、市民の皆さんが感じている思いを把握し、必要に応じて事務事業の見直しや改善を図りながら効率的で効果的な行政運営につなげるとともに、調査を通じて市民の皆さんに市政への関心や理解を深めていただき、協働・共創のまちづくりを一層推進することを目的とする。
(平成18年度から継続実施)
- 調査項目・第3次大仙市総合計画に示している体系（「施策」「取組方針」）に基づき設定した項目について
「満足度」「重要度」「今後、市に力を入れてほしいこと」を調査
 - ・「大仙市の住みやすさ」について、「住みやすさ」「住み続けたさ」「住む場所を選ぶ際に重視すること」などを調査
 - ・「まちづくりへの意識」について、「市政への関心度」「意見や要望の市政への反映」などを調査
 - ・「市の情報発信や行政サービスのデジタル化」について、「市政情報の入手手段」「行政サービス等のデジタル化に期待すること」などを調査
- 調査対象：16歳以上85歳未満の市民 1,000人（無作為抽出）
- 実施期間：令和8年5月28日～6月30日（34日間）

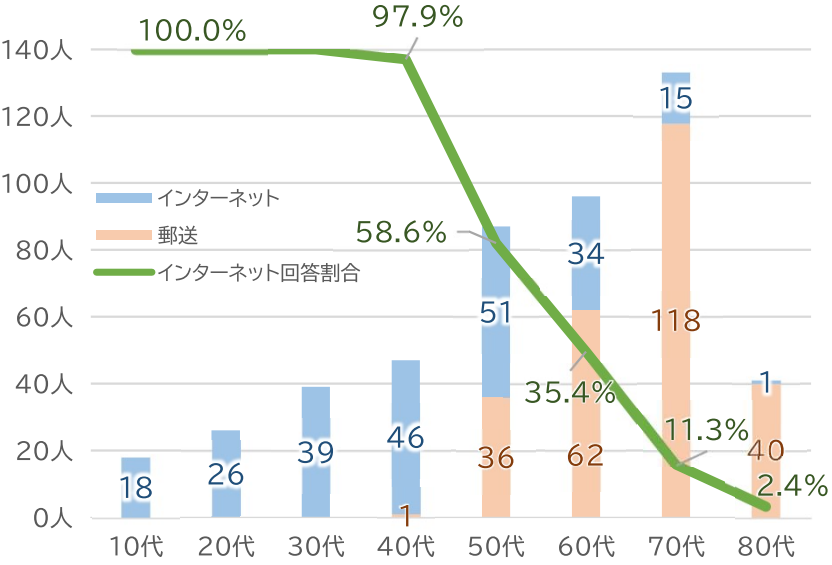
回答数および回答率

回答方法別



	令和8年度	令和7年度
回答数・回答率 ※送付人数:1,000人	487人 48.7%	529人 52.9%
うち郵送での 回答数・回答率	257人 52.8%	313人 59.2%
うちインターネットでの 回答数・回答率	230人 47.2%	216人 40.8%

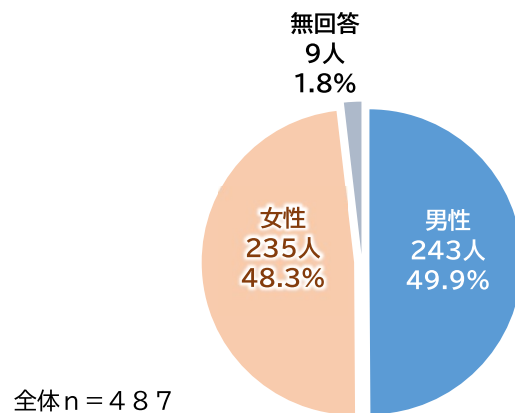
年代別



1. 回答者の属性等について

（１）性別

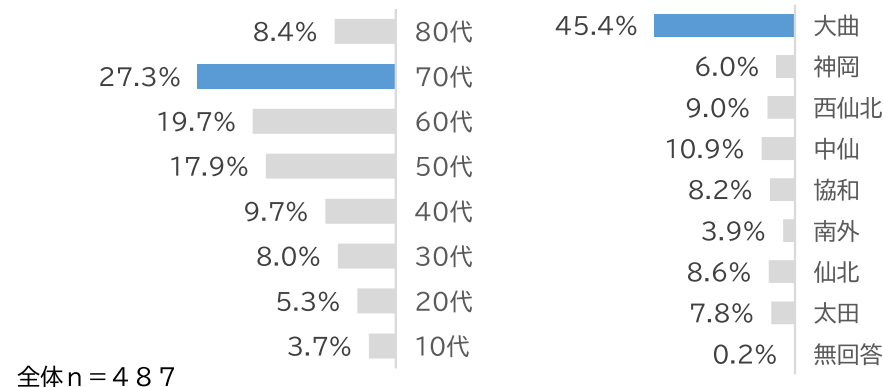
➤ 「男性」が49.9%、「女性」は48.3%、「無回答」は1.8%となっている。



（２）年代別・地域別

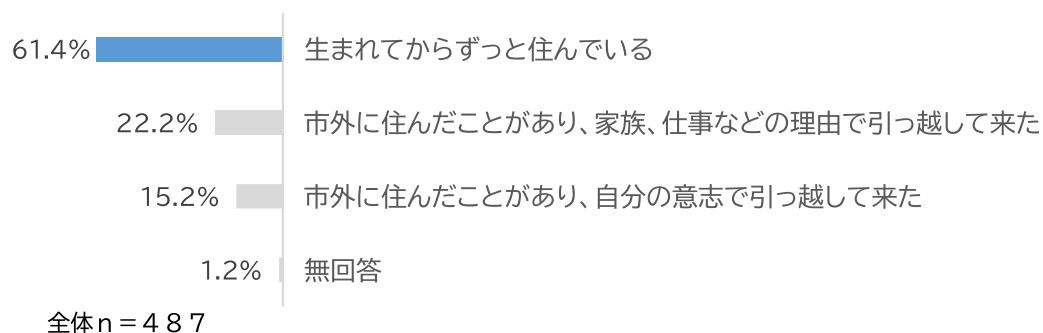
➤ 年代別は「70代」が27.3%、次いで「60代」が19.7%となっている。

➤ 地域別は「大曲」が45.4%、次いで「中仙」が10.9%となっている。



（３）大仙市に住んでいる経緯

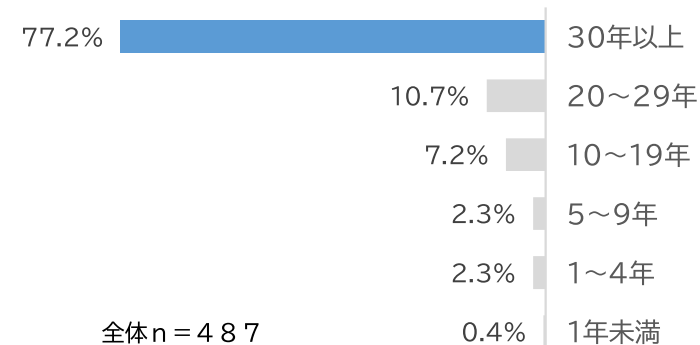
➤ 「生まれてからずっと住んでいる」が61.4%、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」が22.2%となっている。



※「大仙市に住んでいる経緯を教えてください」という設問

（４）大仙市での通算居住年数

➤ 「30年以上」が77.2%、次いで「20～29年」が10.7%となっている。

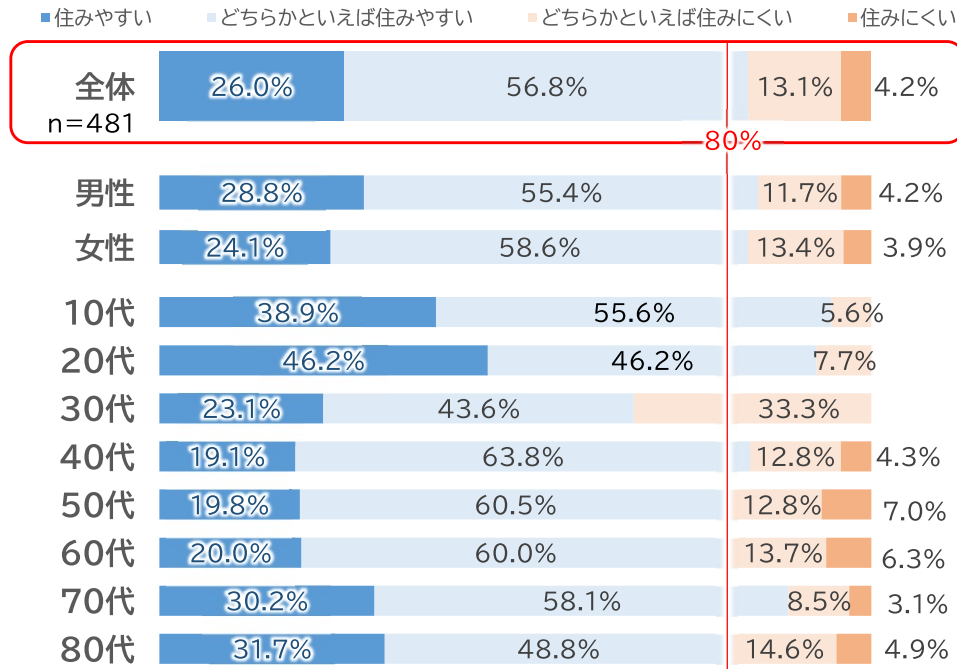


※「大仙市（旧市町村を含む）での通算居住年数を教えてください」という設問

※ 数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計の値は必ずしも100%とならない。

2. 大仙市の住みやすさについて

（１）大仙市の住みやすさ



➤ **全体**では「住みやすい」が26.0%、「どちらかといえば住みやすい」が56.8%となっており、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は82.8%となっている。

➤ **性別**でみると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は男性が84.2%、女性が82.7%となっており、男性が1.5ポイント高くなっている。

➤ **年代別**でみると、30代を除く全ての年代で「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は8割以上となっており、特に10代と20代では9割を超えている。

※「大仙市は住みやすいまちだと思いますか」という設問

（２）大仙市の住みやすさ（経年比較）

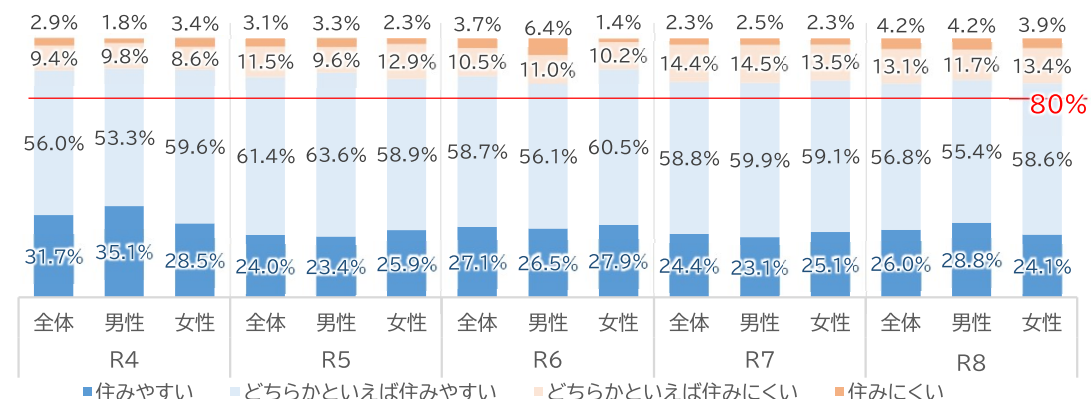
経年比較	R4	R5	R6	R7	R8
住みやすい	31.7%	24.0%	27.1%	24.4%	26.0%
どちらかといえば住みやすい	56.0%	61.4%	58.7%	58.8%	56.8%
どちらかといえば住みにくい	9.4%	11.5%	10.5%	14.4%	13.1%
住みにくい	2.9%	3.1%	3.7%	2.3%	4.2%

※()の数値は、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値

※《 》の数値は、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計値

※ 数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計の値は必ずしも100%とならない。

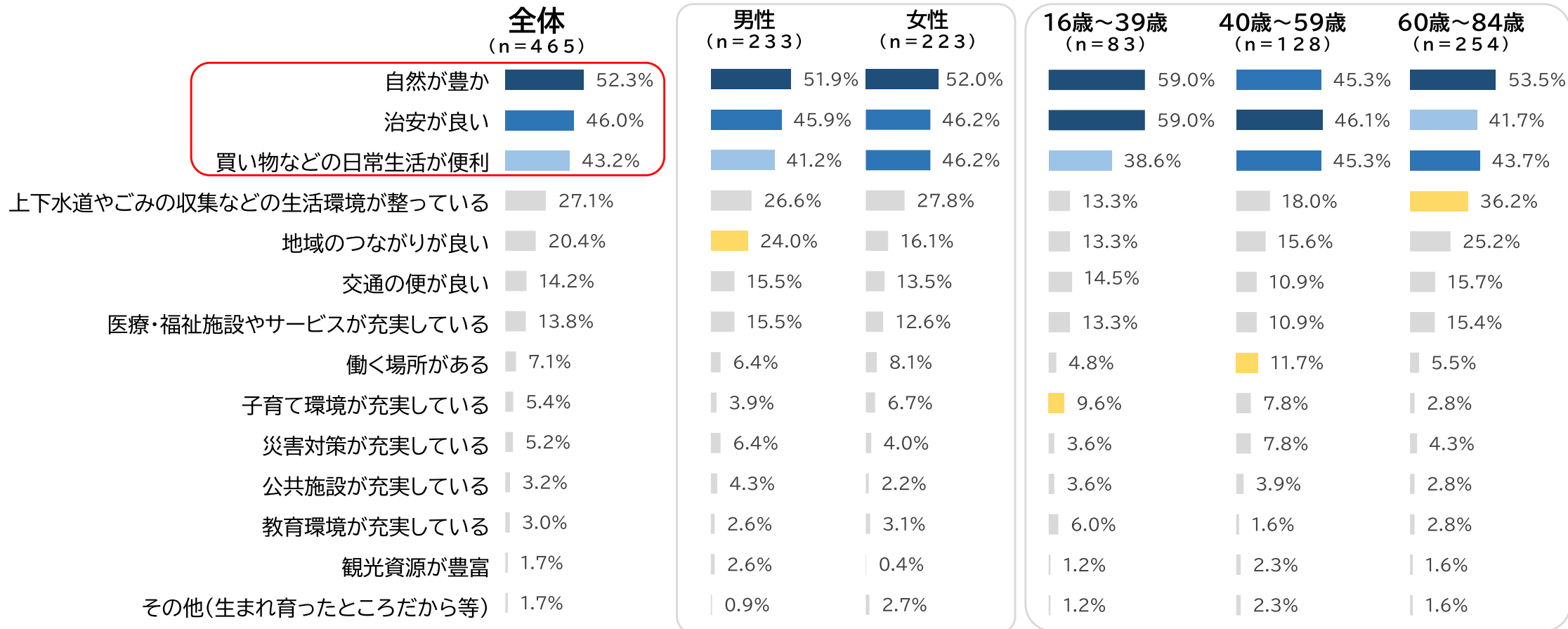
➤ **“住みやすさ”**を経年比較すると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は、令和4年度（87.7%）から令和8年度（82.8%）にかけて4.9ポイント低下しているものの、8割を超えて推移している。



2. 大仙市の住みやすさについて

（3）大仙市の住みやすいところ

- 全体では、「自然が豊か」が52.3%で最も高く、次いで「治安が良い」「買い物などの日常生活が便利」と続いている。
- 性別でみると、「買い物などの日常生活が便利」と回答した割合は、女性が46.2%と男性より5.0ポイント高くなっている。一方、「地域のつながりが良い」と回答した割合は、男性が24.0%と女性より7.9ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、全ての年齢層で「自然が豊か」「治安が良い」「買い物などの日常生活が便利」と回答した割合が高くなっているほか、16歳から39歳は「子育て環境が充実している」、40歳から59歳は「働く場所がある」、60歳から84歳は「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」と回答した割合が他の年齢層と比べて高くなっている。

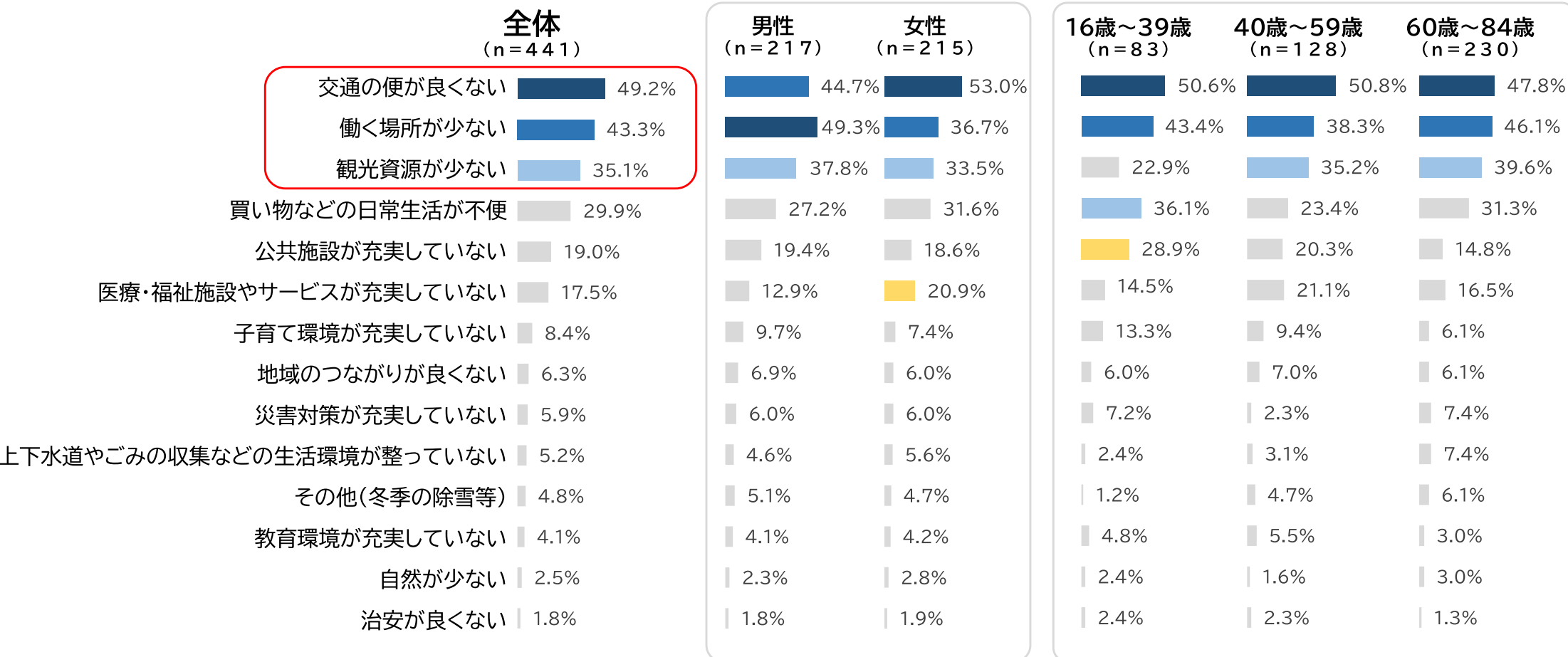


※「大仙市の『住みやすいところ』と『住みにくいところ』はどんなところですか。それぞれ3つまで回答してください」という設問

2. 大仙市の住みやすさについて

（4）大仙市の住みにくいところ

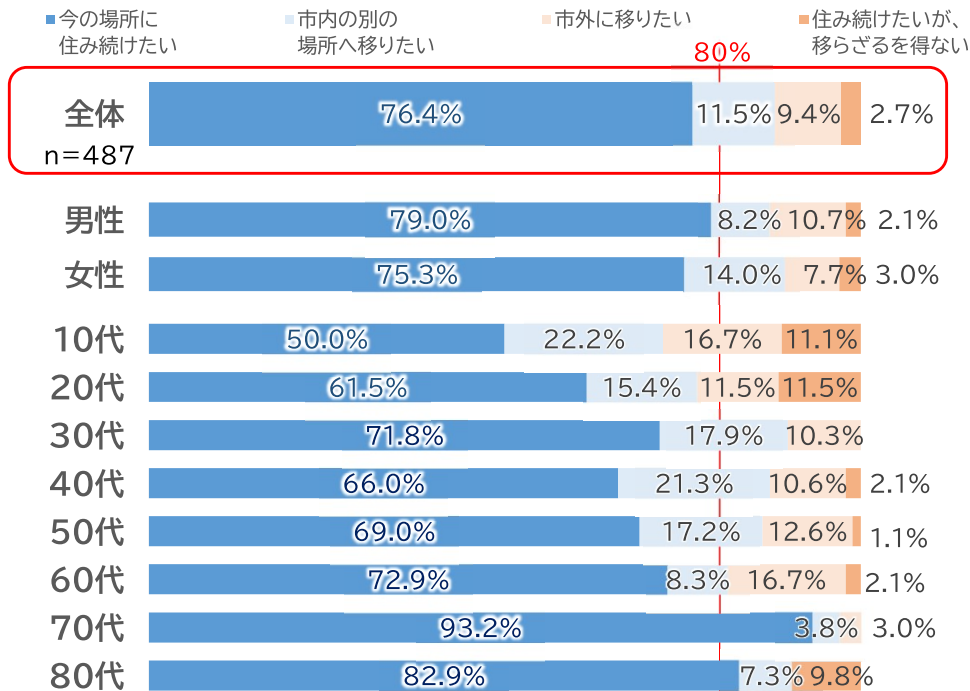
- **全体**では、「交通の便が良くない」が**49.2%**で最も高く、次いで「働く場所が少ない」「観光資源が少ない」と続いている。
- **性別**でみると、「働く場所が少ない」と回答した割合は、**男性が49.3%**と**女性より12.6ポイント高**くなっている。一方、「医療・福祉施設やサービスが充実していない」と回答した割合は、**女性が20.9%**と**男性より8.0ポイント高**くなっている。
- **年齢層別**でみると、**全ての年齢層で「交通の便が良くない」と回答した割合が最も高く**、次いで「働く場所が少ない」となっている。このほか、**16歳から39歳は「公共施設が充実していない」と回答した割合が他の年齢層と比べて高**くなっている。



※「大仙市の『住みやすいところ』と『住みにくいところ』はどんなところですか。それぞれ3つまで回答してください」という設問

2. 大仙市の住みやすさについて

（５）大仙市への住み続けたさ



➤ **全体**では「今の場所に住み続けたい」が76.4%、

「市内の別の場所へ移りたい」が11.5%となっており、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は87.9%となっている。

➤ **性別**でみると、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は女性が89.3%、男性が87.2%となっており、女性が2.1ポイント高くなっている。

➤ **年代別**でみると、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は30代以上で8割を超えている。一方で、10代と20代では「住み続けたいが、移らざるを得ない」が1割を超えている。

※「これからも大仙市に住み続けたいと思いますか」という設問

（６）大仙市への住み続けたさ（経年比較）

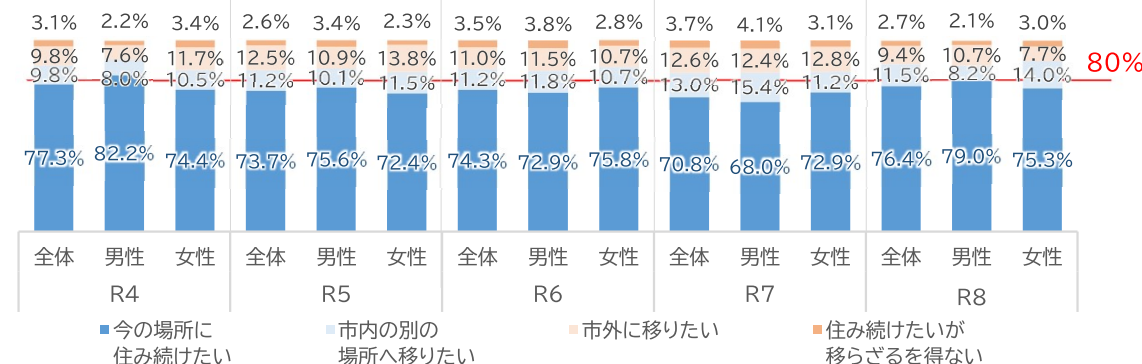
経年比較	R4	R5	R6	R7	R8
今の場所に住み続けたい	77.3%	73.7%	74.3%	70.8%	76.4%
市内の別の場所へ移りたい	9.8%	11.2%	11.2%	13.0%	11.5%
市外に移りたい	9.8%	12.5%	11.0%	12.6%	9.4%
住み続けたいが、 移らざるを得ない	3.1%	2.6%	3.5%	3.7%	2.7%
	(87.1%)	(84.9%)	(85.5%)	(83.8%)	(87.9%)
	《12.9%》	《15.1%》	《14.5%》	《16.3%》	《12.1%》

※()の数値は、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」の合計値

※《 》の数値は、「市外に移りたい」と「住み続けたいが、移らざるを得ない」の合計値

※ 数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計の値は必ずしも100%とならない。

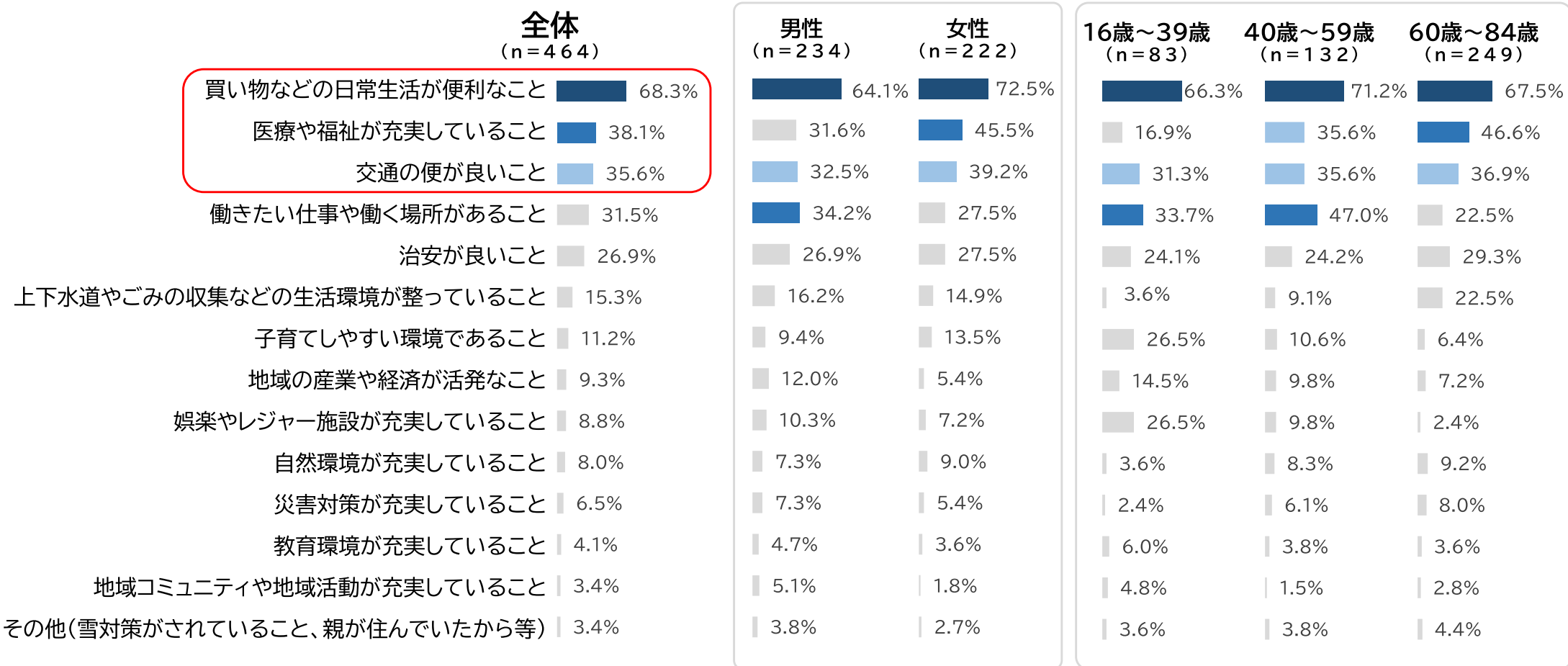
➤ **“住み続けたさ”**を経年比較すると、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は令和4年度(87.1%)から令和8年度(87.9%)にかけて0.8ポイント上昇しているが、概ね横ばいとなっている。



2. 大仙市の住みやすさについて

（6）住む場所に重視すること

- 全体では、「買い物などの日常生活が便利なこと」が68.3%で最も高く、次いで「医療や福祉が充実していること」「交通の便が良いこと」と続いている。
- 性別でみると、「医療や福祉が充実していること」と回答した割合は、女性が45.5%と男性より13.9ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、全ての年齢層で「買い物などの日常生活が便利なこと」と回答した割合が最も高く、次いで16歳から39歳、40歳から59歳では「働きたい仕事や働く場所があること」、60歳から84歳では「医療や福祉が充実していること」と続いている。

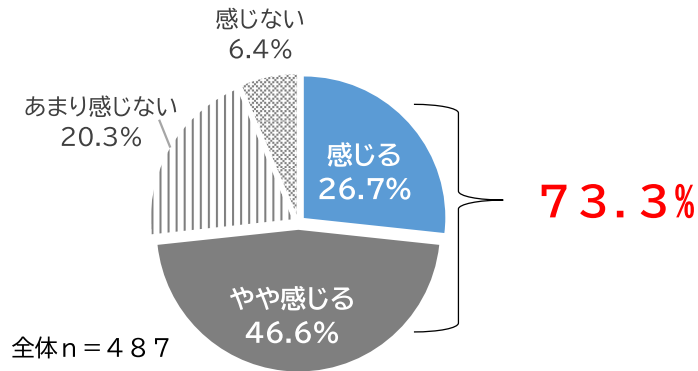


※「住む場所を選ぶ際に重視することは何ですか。3つまで回答してください」という設問

3. 市への誇りや愛着、市政への関心について

（１）市への誇りや愛着

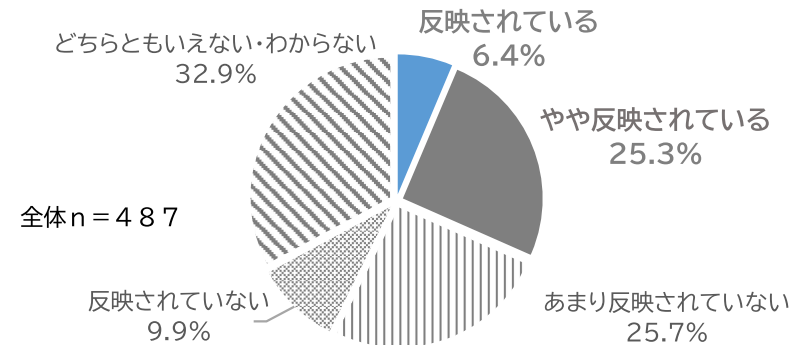
➤ 「感じる」が26.7%、「やや感じる」が46.6%となっており、「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合は73.3%となっている。



※「大仙市に誇りや愛着を感じますか」という設問

（２）意見や要望の反映

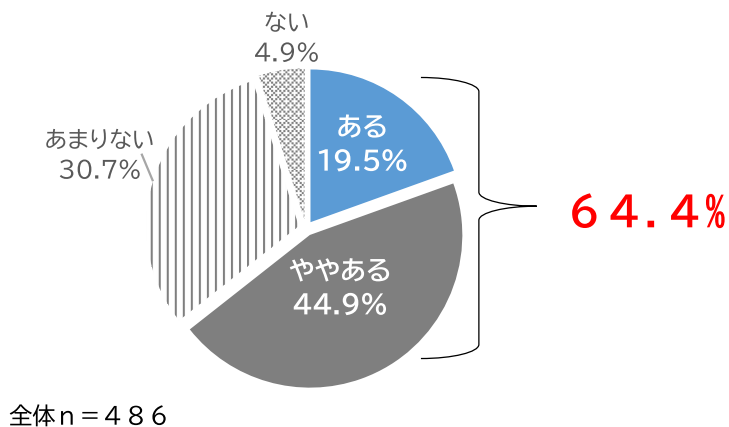
➤ 「反映されている」が6.4%、「やや反映されている」が25.3%となっており、「反映されている」と「やや反映されている」をあわせた割合は31.7%となっている。



※「ご自身の経験などから、市民の意見や要望が市政に反映されていると思いますか」という設問
※ 数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計の値は必ずしも100%とならない

（３）市政に対する関心

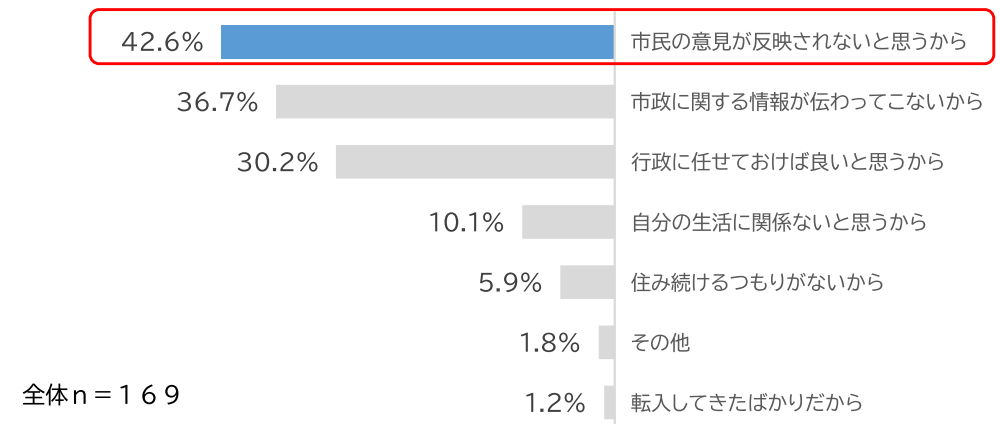
➤ 「ある」が19.5%、「ややある」が44.9%となっており、「ある」と「ややある」をあわせた割合は64.4%となっている。



※「あなたは市政に対して関心はありますか」という設問

（４）関心がない理由

➤ 「市民の意見が反映されないと思うから」が42.6%で最も高く、次いで「市政に関する情報が伝わってこないから」が36.7%となっている。

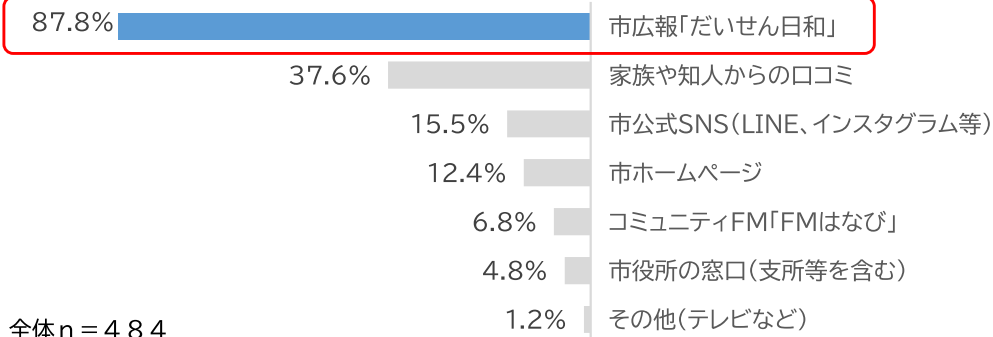


※「(3)で『あまりない』『ない』と回答した方にお聞きします。市政に対して関心がない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください」という設問

4. 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

（１）市政情報の入手方法

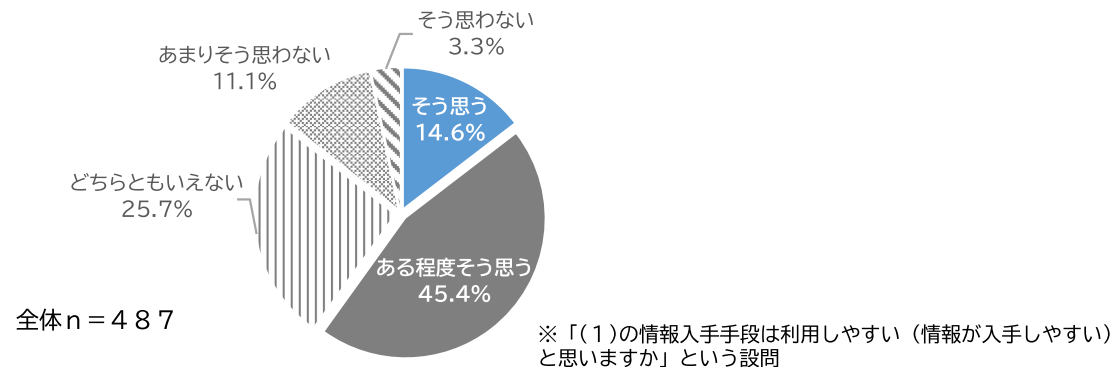
➤ 「市広報『だいせん日和』」が87.8%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」が37.6%となっている。



※「市の情報をどのように入手していますか。2つまで回答してください」という設問

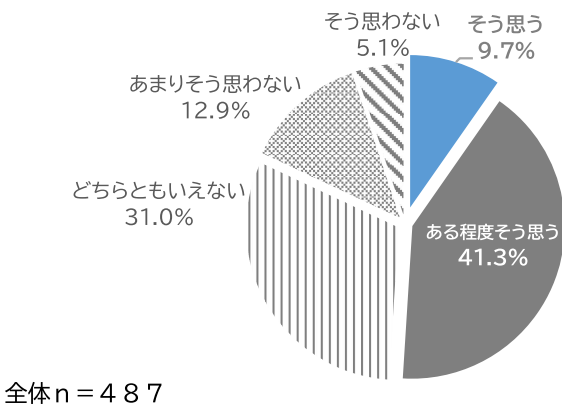
（２）市政情報の入手しやすさ

➤ 「そう思う（入手しやすい）」が14.6%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が45.4%となっており、「そう思う」と「ある程度そう思う」をあわせた割合は60.0%となっている。



（３）市の行政サービスの利用しやすさ

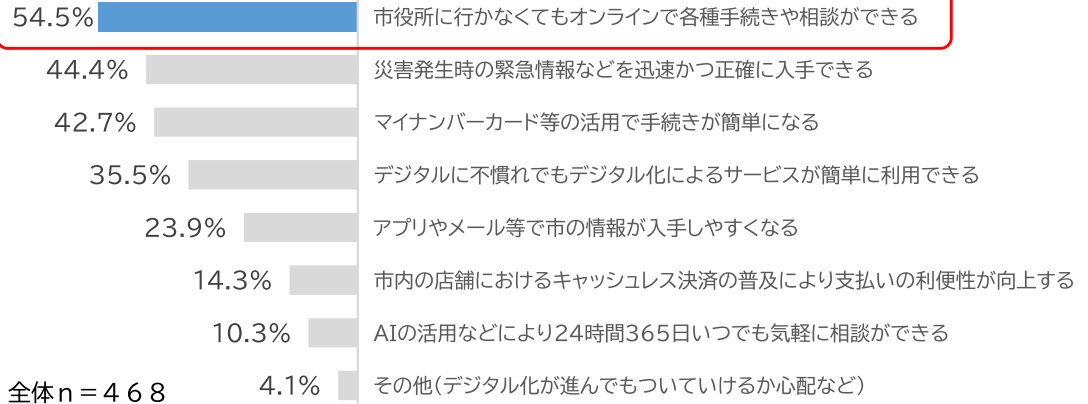
➤ 「そう思う（利用しやすい）」が9.7%、「ある程度そう思う（ある程度利用しやすい）」が41.3%となっており、「そう思う」と「ある程度そう思う」をあわせた割合は51.0%となっている。



※「市のサービス（全般）は利用しやすいと思いますか」という設問

（４）行政サービス等のデジタル化に期待すること

➤ 「市役所に行かなくてもオンラインで各種手続きや相談ができる」が54.5%で最も高く、次いで「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」が44.4%となっている。



※「今後、行政サービスや地域のデジタル化が進むことにより、どのようなサービスが受けられることを期待しますか。3つまで回答してください」という設問

5. 満足度、重要度、要望度について

- **満足**の度合い：上位項目は、上から「保健・医療」「花火産業構想」「防災・減災」の順となっており、
下位項目は、下から「商工業」「空き家対策」「出会い・結婚」「雇用・就労」の順となっている。
- **重要**の度合い：上位項目は、上から「雪対策」「保健・医療」「道路河川」の順となっており、
下位項目は、下から「地域間・国際交流」「市民協働・共創」「芸術・文化」の順となっている。
- **要望**の度合い：上位項目は、上から「雪対策」「空き家対策」「雇用・就労」の順となっており、
下位項目は、下から「花火産業構想」「地域間・国際交流」「芸術・文化」の順となっている。

〈満足〉 5:満足、4:まあ満足、3:どちらともいえない
2:やや不満、1:不満

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.68
2	花火産業構想	3.48
3	防災・減災	3.40
4	自然・生活環境	3.34
4	高齢者福祉	3.34

評価	項目	満足度
29	公共交通	2.88
30	雇用・就労	2.87
30	出会い・結婚	2.87
32	空き家対策	2.86
32	商工業	2.86

〈重要〉 5:重要、4:やや重要、3:どちらともいえない
2:あまり重要ではない、1:重要ではない

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.42
2	保健・医療	4.33
3	道路河川	4.23
4	上下水道	4.20
5	防災・減災	4.17

評価	項目	重要度
29	スポーツ	3.59
30	男女共同参画・女性活躍	3.56
31	芸術・文化	3.52
31	市民協働・共創	3.52
33	地域間・国際交流	3.46

〈要望〉（重要－満足）

評価	項目	要望度
1	雪対策	1.31
2	空き家対策	1.17
3	雇用・就労	1.14
4	商工業	1.04
5	公共交通	1.02

評価	項目	要望度
29	市民協働・共創	0.43
30	スポーツ	0.41
31	芸術・文化	0.40
32	地域間・国際交流	0.33
33	花火産業構想	0.12

※ 第3次大仙市総合計画の施策に基づく33項目について、「満足度」及び「重要度」を5段階で評価し、各項目の平均値を基に上位から下位までを並べている。
「要望度」＝「重要度」－「満足度」【重要度及び満足度については、各項目の5段階評価の平均点】

令和8年度 市民による市政評価 調査結果（満足度、重要度、要望度 一覧）

11

〈満足〉

※ 第3次大仙市総合計画の施策に基づく33項目について、「満足度」及び「重要度」を5段階で評価し、各項目の平均値を基に上位から順に並べている。

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.68
2	花火産業構想	3.48
3	防災・減災	3.40
4	自然・生活環境	3.34
4	高齢者福祉	3.34
6	交通安全・防犯	3.33
7	学校教育	3.32
8	上下水道	3.31
9	子ども・子育て	3.29
10	社会福祉	3.28
11	道路河川	3.27
12	社会保障	3.24
13	生涯学習	3.21
14	スポーツ	3.18
15	地域活動	3.17
16	農林水産業	3.16
17	地域間・国際交流	3.13
17	芸術・文化	3.13
19	雪対策	3.11
19	カーボンニュートラル	3.11
21	市民協働・共創	3.09
21	シティプロモーション	3.09
23	住環境、公園・緑地	3.08
24	男女共同参画・女性活躍	3.07
25	行財政運営	3.05
26	観光	3.02
27	移住・定住	2.95
28	機能集約型都市構造	2.93
29	公共交通	2.88
30	雇用・就労	2.87
30	出会い・結婚	2.87
32	空き家対策	2.86
32	商工業	2.86

〈重要〉

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.42
2	保健・医療	4.33
3	道路河川	4.23
4	上下水道	4.20
5	防災・減災	4.17
6	子ども・子育て	4.15
6	社会福祉	4.15
8	高齢者福祉	4.14
9	社会保障	4.11
10	学校教育	4.10
11	交通安全・防犯	4.08
12	自然・生活環境	4.07
13	空き家対策	4.03
14	雇用・就労	4.02
15	農林水産業	3.94
16	商工業	3.90
16	公共交通	3.90
18	移住・定住	3.87
19	行財政運営	3.81
20	住環境、公園・緑地	3.79
21	生涯学習	3.77
22	出会い・結婚	3.70
23	観光	3.67
24	地域活動	3.64
25	機能集約型都市構造	3.63
26	花火産業構想	3.60
26	カーボンニュートラル	3.60
26	シティプロモーション	3.60
29	スポーツ	3.59
30	男女共同参画・女性活躍	3.56
31	芸術・文化	3.52
31	市民協働・共創	3.52
33	地域間・国際交流	3.46

〈要望〉 (重要度－満足度)

「要望度」は「重要度」から「満足度」を差し引いた値。
【重要度及び満足度については、各項目の5段階評価の平均点】

評価	項目	要望度
1	雪対策	1.31
2	空き家対策	1.17
3	雇用・就労	1.14
4	商工業	1.04
5	公共交通	1.02
6	道路河川	0.96
7	移住・定住	0.92
8	上下水道	0.89
9	社会福祉	0.87
9	社会保障	0.87
11	子ども・子育て	0.86
12	出会い・結婚	0.83
13	高齢者福祉	0.80
14	農林水産業	0.79
15	学校教育	0.78
16	防災・減災	0.77
17	行財政運営	0.76
18	交通安全・防犯	0.75
19	自然・生活環境	0.72
20	住環境、公園・緑地	0.71
21	機能集約型都市構造	0.70
22	保健・医療	0.65
23	観光	0.64
24	生涯学習	0.56
25	シティプロモーション	0.51
26	カーボンニュートラル	0.50
27	男女共同参画・女性活躍	0.49
28	地域活動	0.48
29	市民協働・共創	0.43
30	スポーツ	0.41
31	芸術・文化	0.40
32	地域間・国際交流	0.33
33	花火産業構想	0.12

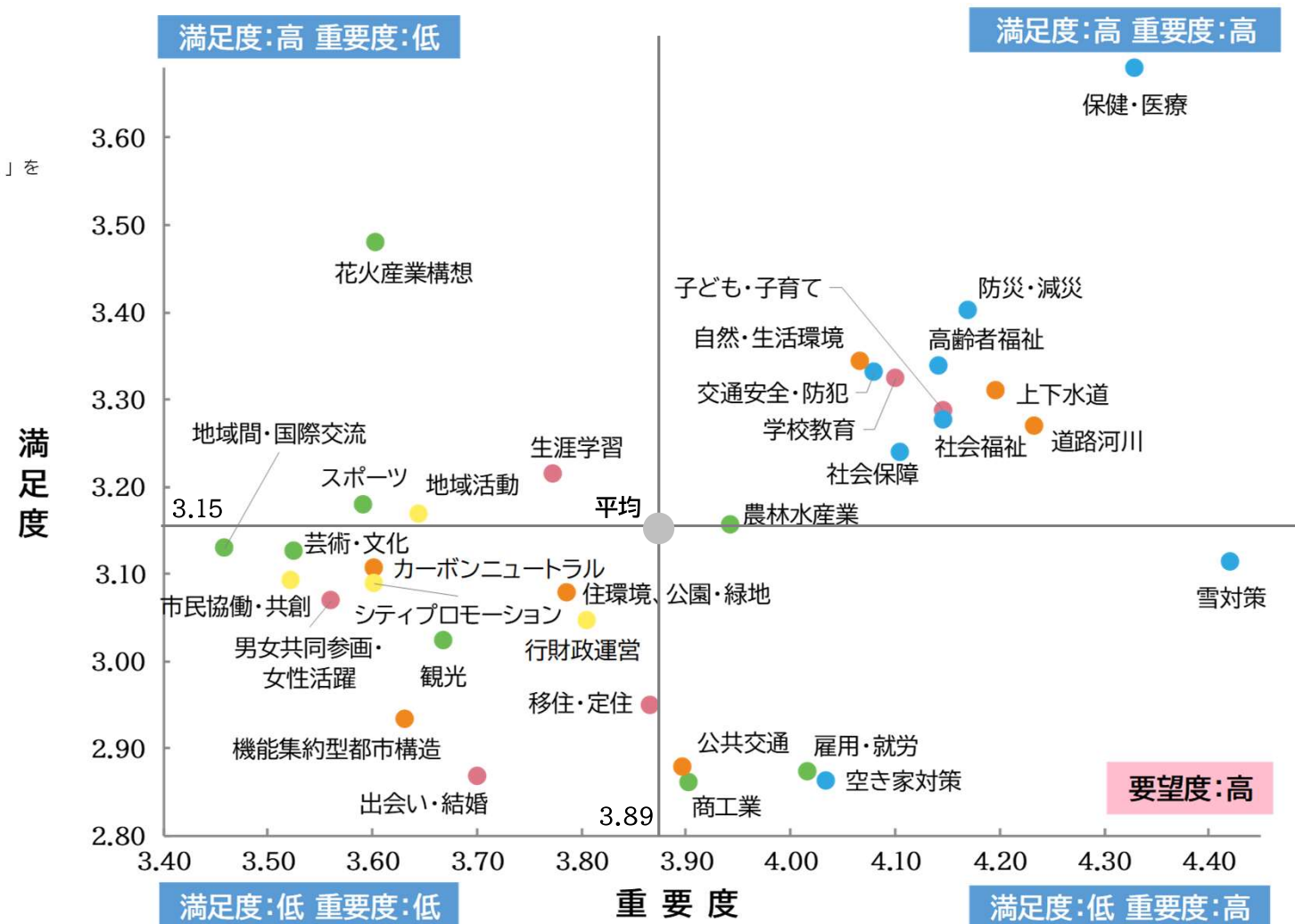
6. 満足度、重要度の散布図について

➤ 相対的に見て要望度が高い（「満足度」は低い「重要度」は高い）項目は、「雪対策」「空き家対策」「雇用・就労」「商工業」「公共交通」となっている。特に「雪対策」は最も要望度が高い項目となっている。

第3次大仙市総合計画 基本目標

- 基本目標 1 魅力ある産業と地域資源により、にぎわいがあふれるまち
- 基本目標 2 地域の活力を生み、誰もがいきいきと活躍できるまち
- 基本目標 3 誰もが安全・安心で、幸せに暮らせるまち
- 基本目標 4 豊かな自然を守り、快適な住みよいまち
- 基本目標 5 地域と共に創る、未来に続く持続可能なまち

※ 第3次大仙市総合計画の施策に基づく33項目について
「満足度（現状に対してどのくらい満足しているか）」と
「重要度（今後の大仙市にとってどのくらい重要であるか）」を
5段階で評価し、各項目の平均値の分布を示した図



7. 第3次大仙市総合計画と散布図との対応関係について

基本目標／施策／取組方針			市政評価の項目	散布図位置	
基本目標	施策（例：1-1-1）				
	取組方針（例：1-1-1-1）				
1 魅力ある産業と地域資源により、にぎわいがあふれるまち	1-1	農林水産業の振興		農林水産業	②
	1-1-1	農業経営の安定化と強化			
	1-1-2	農畜産物のブランド化と販売促進			
	1-1-3	担い手の確保・育成と生産性の向上			
	1-1-4	生産基盤整備と農地・農村環境の保全			
	1-1-5	森林・水産資源の適正管理と有効活用		商工業	①
	1-2	商工業の振興			
	1-2-1	地域商業の活性化			
	1-2-2	中小企業・小規模事業者への支援強化			
	1-2-3	企業誘致の強化		雇用・就労	①
	1-3	雇用・就労の促進			
	1-3-1	雇用・就労支援の充実		花火産業構想	④
	1-4	花火産業構想の推進			
	1-4-1	花火産業推進プロジェクトの推進		観光	③
	1-5	観光の振興			
	1-5-1	地域資源を活用した観光振興		スポーツ	④
	1-5-2	観光施設の魅力向上と最適化			
	1-6	スポーツの振興		芸術・文化	③
	1-6-1	スポーツの推進			
	1-6-2	スポーツ環境の整備		地域間・国際交流	③
	1-7	芸術・文化の振興			
	1-7-1	芸術文化活動の促進と体験機会の創出		出会い・結婚	③
	1-7-2	文化財の保存、整備、活用の推進			
	1-8	地域間交流・国際交流の推進		出会い・結婚	③
1-8-1	地域間交流・国際交流の推進				
2 地域の活力を生み、誰もがいきいきと活躍できるまち	2-1	出会い・結婚支援の充実		子ども・子育て	②
	2-1-1	出会い・結婚支援の充実			
	2-2	子ども・子育て支援の充実		学校教育	②
	2-2-1	母子保健の充実			
	2-2-2	子育て支援の充実			
	2-2-3	子育てしやすい環境づくり			
	2-2-4	子どもの健全な育成の推進		生涯学習	④
	2-3	学校教育の充実			
	2-3-1	教育環境の整備・充実		移住・定住	③
	2-3-2	ふるさと教育・キャリア教育等の推進			
	2-4	生涯学習の推進		男女共同参画・女性活躍	③
	2-4-1	生涯学習環境の整備・充実			
	2-4-2	学習機会の充実と活動への支援		女性活躍の推進	
	2-5	移住・定住の促進			
	2-5-1	情報発信の強化とサポート体制の充実		女性活躍の推進	
	2-5-2	「すまい」「くらし」「しごと」に対する支援の充実			
	2-6	男女共同参画・女性活躍の推進		男女共同参画・女性活躍	③
2-6-1	男女共同参画の推進				
2-6-2	女性活躍の推進				

基本 目標	基本目標／施策／取組方針		市政評価の項目	散布区 位置
	施策（例：1-1）			
	取組方針（例：1-1-1）			
3 誰もが安全・安心で、幸せに暮らせるまち	3-1	保健・医療の充実	保健・医療	②
	3-1-1	健康づくりの推進		
	3-1-2	地域医療体制の充実		
	3-2	社会福祉の充実	社会福祉	②
	3-2-1	地域福祉の充実		
	3-2-2	障がい児・障がい者福祉の充実		
	3-3	高齢者福祉の充実	高齢者福祉	②
	3-3-1	地域包括ケアシステムの推進		
	3-3-2	高齢者支援サービスの充実		
	3-4	社会保障の充実	社会保障	②
	3-4-1	国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金制度の推進		
	3-4-2	生活の安定と自立への支援		
	3-5	交通安全・防犯対策の強化	交通安全・防犯	②
	3-5-1	交通安全・防犯対策の推進		
	3-6	防災・減災対策の強化		
	3-6-1	地域防災力の強化	防災・減災	②
	3-6-2	消防体制・機能の強化		
	3-7	雪対策の強化	雪対策	①
	3-7-1	除排雪体制の強化		
	3-7-2	地域協働による雪対策の推進		
	3-8	空き家対策の推進	空き家対策	①
	3-8-1	空き家の適正管理と利活用の推進		
4 豊かな自然を守り、快適な住みよいまち	4-1	カーボンニュートラルの推進	カーボンニュートラル	③
	4-1-1	脱炭素化の推進		
	4-1-2	循環型社会の形成		
	4-2	自然・生活環境の整備	自然・生活環境	②
	4-2-1	自然環境の保全		
	4-2-2	生活環境の整備		
	4-3	公共交通の充実	公共交通	①
	4-3-1	公共交通の維持・充実		
	4-4	機能集約型都市構造の形成	機能集約型都市構造	③
	4-4-1	都市機能の集約と拠点づくりの推進		
	4-5	道路河川等の整備		
	4-5-1	道路・橋りょうの整備と河川の水害対策の推進	道路河川	②
	4-6	上下水道等の整備	上下水道	②
	4-6-1	安全・安心な水道水の安定供給		
4-6-2	生活排水処理対策の推進			
4-7	住環境、公園、緑地の整備	住環境、公園・緑地	③	
4-7-1	住環境の整備			
4-7-2	公園・緑地の整備			

基本目標		基本目標／施策／取組方針		市政評価の項目	散布図位置
		施策（例：1-1）			
		取組方針（例：1-1-1）			
未来に地域と共に創る、持続可能なまち	5	5-1	シティプロモーションの推進		
		5-1-1	地域の魅力の掘り起こしと情報発信の強化	シティプロモーション	③
		5-2	地域活動の維持・活性化		
		5-2-1	市民・地域団体の活動への支援と活性化	地域活動	④
		5-3	市民や多様な主体との協働・共創		
		5-3-1	協働・共創のまちづくりの推進	市民協働・共創	③
		5-4	行財政運営の効率化		
		5-4-1	行政サービス改革と自治体DXの推進	行財政運営	③
		5-4-2	人材の確保・育成と働き方改革の推進		
		5-4-3	健全で持続可能な財政運営		
	5-4-4	公共施設の適正管理と効率的な運営			

散布図

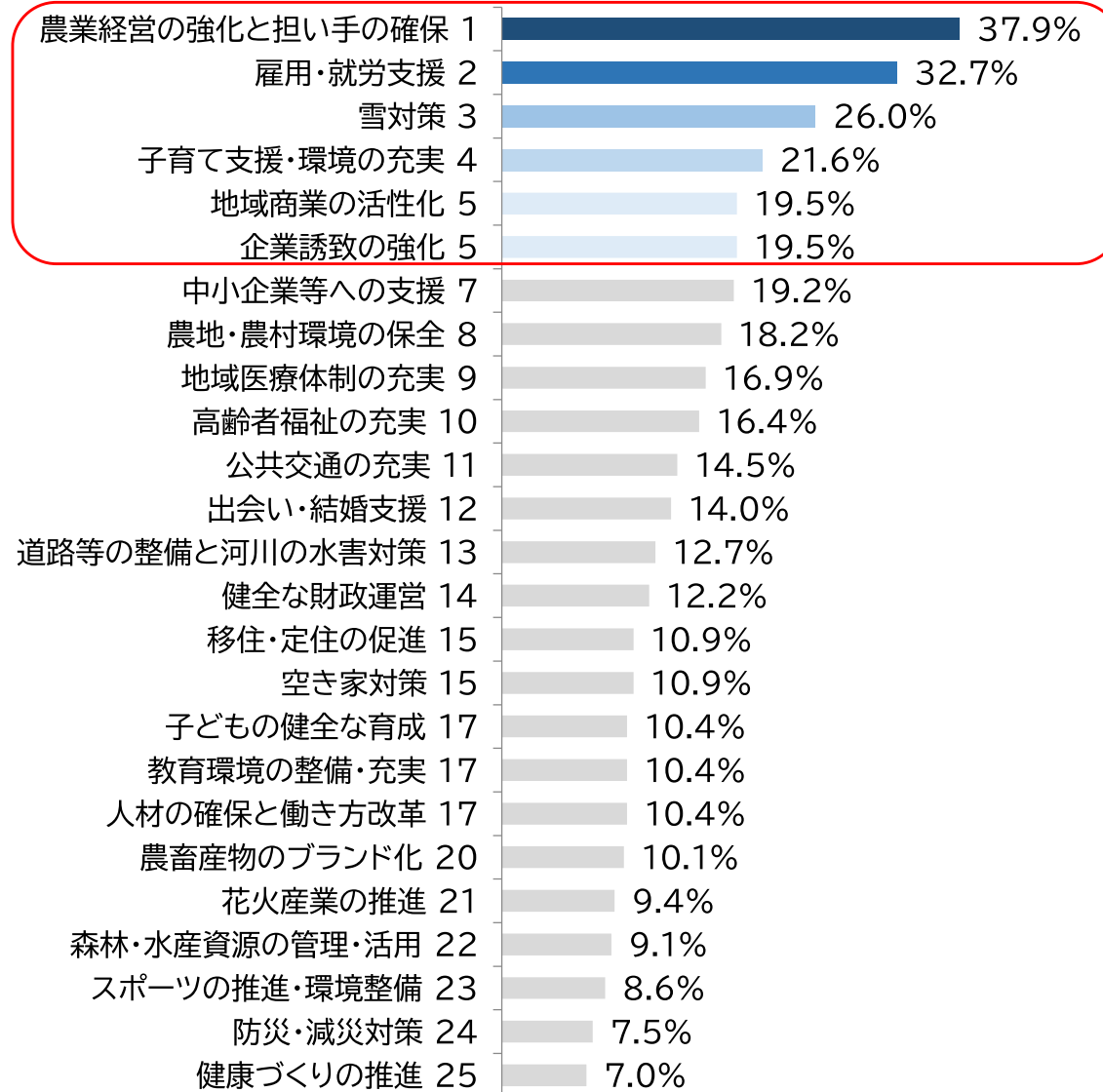


8. 今後、市に力を入れてほしいことについて

➤ 全50項目のうち、上位25項目は次のとおりである。

上位から「農業経営の強化と担い手の確保」「雇用・就労支援」「雪対策」「子育て支援・環境の充実」「地域商業の活性化」「企業誘致の強化」となっている。

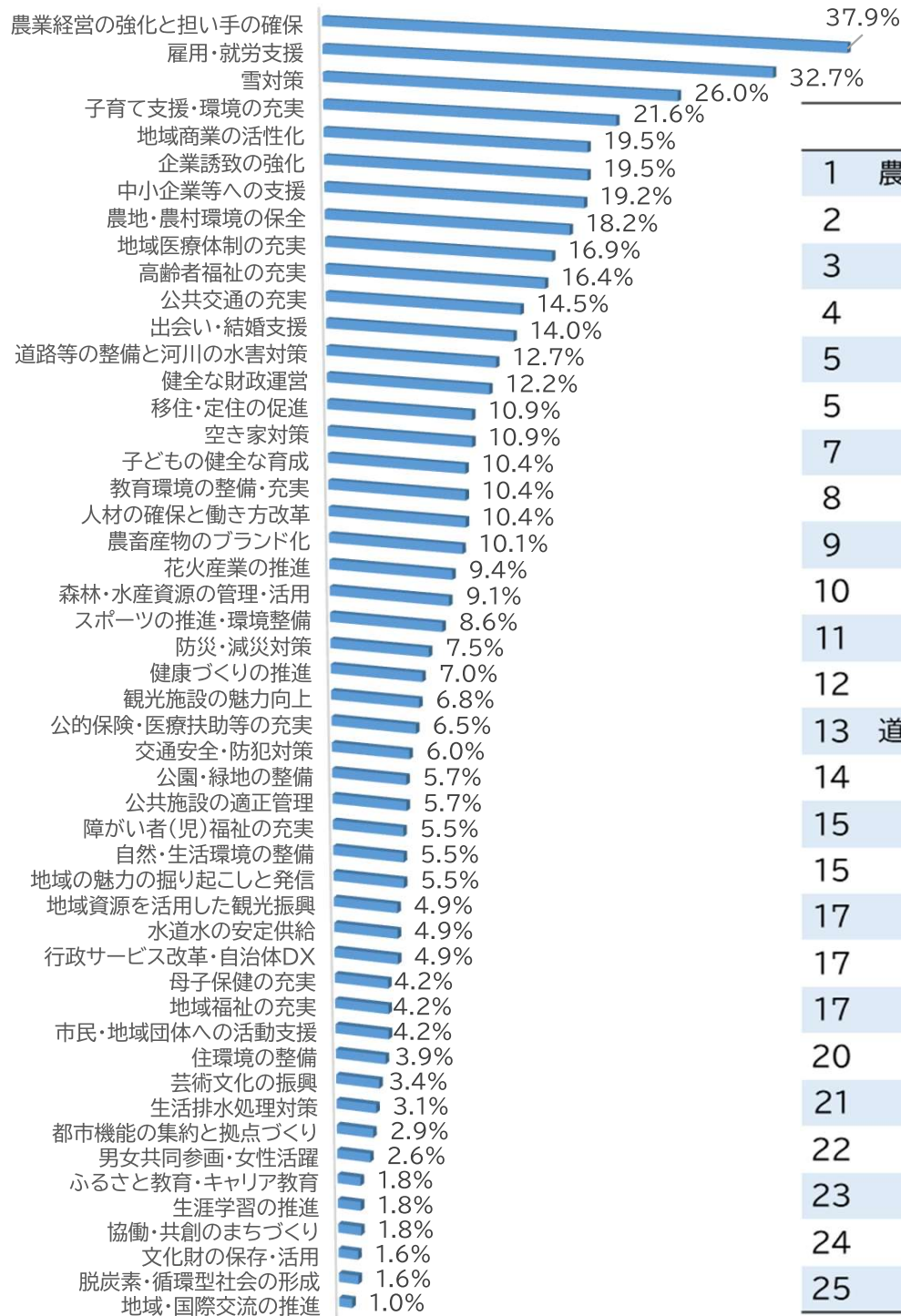
今後、市に力を入れてほしいこと



全体 n = 385

※今後、市政を推進していく上で、「重要課題として市に力を入れてほしいことは何ですか。5つまで回答してください」という設問

令和8年度 市民による市政評価 調査結果（今後、市に力を入れてほしいこと 一覧） 15



項目	回答率	項目	回答率
1 農業経営の強化と担い手の確保	37.9%	26 観光施設の魅力向上	6.8%
2 雇用・就労支援	32.7%	27 公的保険・医療扶助等の充実	6.5%
3 雪対策	26.0%	28 交通安全・防犯対策	6.0%
4 子育て支援・環境の充実	21.6%	29 公園・緑地の整備	5.7%
5 地域商業の活性化	19.5%	29 公共施設の適正管理	5.7%
5 企業誘致の強化	19.5%	31 障がい者(児)福祉の充実	5.5%
7 中小企業等への支援	19.2%	31 自然・生活環境の整備	5.5%
8 農地・農村環境の保全	18.2%	31 地域の魅力の掘り起こしと発信	5.5%
9 地域医療体制の充実	16.9%	34 地域資源を活用した観光振興	4.9%
10 高齢者福祉の充実	16.4%	34 水道水の安定供給	4.9%
11 公共交通の充実	14.5%	34 行政サービス改革・自治体DX	4.9%
12 出会い・結婚支援	14.0%	37 母子保健の充実	4.2%
13 道路等の整備と河川の水害対策	12.7%	37 地域福祉の充実	4.2%
14 健全な財政運営	12.2%	37 市民・地域団体への活動支援	4.2%
15 移住・定住の促進	10.9%	40 住環境の整備	3.9%
15 空き家対策	10.9%	41 芸術文化の振興	3.4%
17 子どもの健全な育成	10.4%	42 生活排水処理対策	3.1%
17 教育環境の整備・充実	10.4%	43 都市機能の集約と拠点づくり	2.9%
17 人材の確保と働き方改革	10.4%	44 男女共同参画・女性活躍	2.6%
20 農畜産物のブランド化	10.1%	45 ふるさと教育・キャリア教育	1.8%
21 花火産業の推進	9.4%	45 生涯学習の推進	1.8%
22 森林・水産資源の管理・活用	9.1%	45 協働・共創のまちづくり	1.8%
23 スポーツの推進・環境整備	8.6%	48 文化財の保存・活用	1.6%
24 防災・減災対策	7.5%	48 脱炭素・循環型社会の形成	1.6%
25 健康づくりの推進	7.0%	50 地域・国際交流の推進	1.0%